

令和7(2025)年2月13日

高等学校長 殿  
中等教育学校長 殿  
社会科(地歴・公民科)主任 殿

神奈川県高等学校教科研究会長 田代 宗弘  
(県立相模原高等学校校長)  
同 社会科部会長 藤元 貴嗣  
(県立愛川高等学校校長)  
同 社会科部会理事長 三橋 健彦  
同 社会科部会歴史分科会長 中山 拓憲  
(公印省略)

### 歴史分科会研究発表会・講演会のお知らせ(依頼)

厳寒の候、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。日頃から当部会の活動に対しご理解とご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、標記研究発表会ならびに講演会を、次のとおり開催することとなりました。校務繁多の時期とは存じますが、貴職下関係職員の出張につきまして格別のご高配を賜りますようお願い申し上げます。なお、本研究発表会は神奈川県教育委員会との共催であることを申し添えます。

- 1 日時 令和7(2025)年3月5日(水) 9:30~17:00
- 2 会場 県立地球市民かながわプラザ 5F映像ホール (JR根岸線「本郷台駅」徒歩3分)  
〒231-0026 神奈川県横浜市栄区小菅ヶ谷1丁目2-1
- 3 時程  
9:30~9:50 受付・資料配付  
10:00~10:10 開会の言葉・部会長挨拶  
10:10~12:30 研究発表及び協議  
日本史 「大衆文化と高校野球—神奈川の高校野球を題材とした授業実践—」  
時任 竜也(県立厚木王子高等学校)  
世界史 「『歴史総合をどう考えるか』を使って実際に授業化してみた。  
~ミャンマーを事例に帝国による統治のあり方を考える~」  
神田 基成(鎌倉学園中学校・高等学校)  
柴 泰登(中央大学附属横浜中学校・高等学校)  
12:30~12:45 講評(神奈川県教育局高校教育課指導主事)  
12:45~13:45 昼食・休憩  
13:45~14:00 広報・事務連絡  
14:00~16:30 講演会 「性の売買と社会—近代移行期を中心に—」  
横山百合子(国立歴史民俗博物館名誉教授)  
16:30~17:00 閉会・諸連絡

※研究発表・講演については、裏面に記載しています。

#### 4 その他

出張旅費につきましては、誠に恐縮ですが貴校にてご負担くださいますよう、お願いいたします。

問合せ先  
県立湘南高等学校 中山 拓憲  
TEL 0466-26-4151 FAX 0466-28-0020  
E-mail:ntakunori@pen-kanagawa.ed.jp  
rekishibunka.kanagawa@gmail.com

## 高校教員の研究発表について

日本史：「大衆文化と高校野球－神奈川の高校野球を題材とした授業実践－」（時任 竜也）

高校野球が、なぜ大衆にとって欠かせないスポーツとなったのか、神奈川の高校野球と関連付けながらスポーツと大衆文化を織り交ぜた授業実践の報告を行う。

世界史：「『歴史総合をどう考えるか』を使って実際に授業化してみた。

～ミャンマーを事例に帝国による統治のあり方を考える～」（神田 基成・柴 泰登）

神奈川県内の教員たちで編んだ書籍『歴史総合をどう考えるか』（山川出版社）をもとに、実際の授業を作る試み。授業プランの作成者のねらいが、一読者である授業実践者によってどのように達成されたのかを、赤裸々に報告する。

【演題】性の売買と社会－近代移行期を中心に－

【講師】横山 百合子（よこやま ゆりこ）

国立歴史民俗博物館名誉教授

神奈川県立高等学校社会科教諭、千葉経済大学経済学部教授、帝京大学文学部教授、国立歴史民俗博物館教授（総合研究大学院大学教授併任）などを経て同名誉教授

『江戸東京の明治維新』（岩波書店、2018年）、『明治維新と近世身分制の解体』（山川出版社、2005年）、編著に国立歴史民俗博物館 監修／「性差の日本史」展示プロジェクト 編『新書版 性差（ジェンダー）の日本史』（集英社、2021年）、明治維新史学会編『講座明治維新 9 明治維新と女性』（有志舎、2015年）ほか多数

専門分野は、日本近世史、ジェンダー史で、2020年秋に開催された国立歴史民俗博物館企画展示「性差（ジェンダー）の日本史」展示プロジェクト代表

【講師の先生からのメッセージ】

現代の日本でも、ようやく、性の多様性や性にかかわる人権の重要性が主張されるようになってきました。その動きを反映し、近年、性を社会との関係のなかで明らかにする歴史研究も活発化しています。たとえば、近世遊廓は、遊女や客、妓楼経営を支える金融、幕府政策など多様な視点からみると、いかなる構造をもち、そこで、遊女をはじめとする人びとはいかに生きていたのでしょうか。また、明治初年の芸娼妓解放令など、資本主義の発達と19世紀世界の一体化のなかで性売買をめぐる問題が急浮上するのはなぜなのでしょう。本講演では、世界史の展開のなかで横浜の占めた位置などにも留意しつつ、幕末維新期を中心に性の売買の歴史を広い視野から捉え直し、性をめぐる人権の確立に向けて、現代に生きる私たちに必要なことは何なのかを考えます。